

景況調査 結果報告 Vol. 7 ~アンケート期間H30. 1月-3月~

今回、第7回目となる景況調査の報告をします。今回も経営者にとって命ともいえる「資金繰り」に注目し、全国の調査結果と鳥栖の調査結果をDI値にて比較しました。

景況調査（資金繰りDI結果）全国版

	10-12月	1-3月	前期差
製造業	▲7.4	▲9.2	▲1.8
建設業	▲3.8	▲4.9	▲1.1
卸売業	▲4.9	▲6.4	▲1.5
小売業	▲20.3	▲18.6	1.7
サービス業	▲11.7	▲12.2	▲0.5

景況調査（資金繰りDI結果）鳥栖版

	10-12月	1-3月	前期差
製造業	0	0	0
建設業	▲20.0	20.0	40.0
卸売業	0	0	0
小売業	▲20.0	▲80.0	▲60.0
サービス業	▲20.0	▲20.0	0

注目ポイント

小売業のみ前期からDI値の伸びがみられます。

注目ポイント

小売業は前期からDI値が大幅に低下しました。建設業は前期から大幅に伸び、製造業、卸売業、サービス業は前期と変わりなしとなりました。

景況調査とは・・・

中小企業、小規模企業の景況を把握し、資料や情報の収集の為四半期毎にアンケート方式で実施しています。

- ◆調査期間 平成30年1月～3月
- ◆対象企業 鳥栖市内小規模事業 30事業所
- ◆業種 製造5、建設5、卸売3、小売7
サービス10 計30事業所

※小規模事業とは、商業・サービス業では従業員5名以下、それ以外の業種は20名以下の企業をいう。

DI値とは・・・

ゼロを基準として、プラスの値は上向き傾向を表し、マイナスの値は下向き傾向を表します。

DI = (増加・好転などの回答割合) - (減少・悪化などの割合)

《対策》

当初HPに「お金のブロックを外して値上げに自信を持とう！！」というテーマで【商業界7月号P14～16】を参照記事として掲載しております。

事例を使った内容とポイントを押さえた、分かりやすいものとなっております。

お客様への情報発信の一つとして参考にしてみてはいかがでしょうか？

是非ご覧下さい！！

